

令和7年度 松江市上下水道事業会計予算概要

令和7年 1月
松江市上下水道局

1. 水道事業

【業務状況】

区分	R6	R7	比較増減	前年比(%)
給水人口 (人)	182,536	180,918	△ 1,618	△ 0.9
給水戸数 (戸)	96,749	97,494	745	0.8
有収水量 (m ³)	19,461,651	19,290,245	△ 171,406	△ 0.9
有収率 (%)	94.1	94.1	0.0pt	-

※有収率の全国平均は 89.8% (R4 年度決算)

※R7 の有収水量及び有収率は、市民生活支援事業減免水量を含む。

※有収水量の減は給水人口の減等によるもの

※給水人口の推計を国立社会保障・人口問題研究所の推計値から住民基本台帳の数値からの推計値へ変更

【収益的収支】

(単位：千円、消費税及び地方消費税抜)

区分	R6	R7	比較増減	前年比(%)
総収益	5,423,308	5,216,099	△ 207,209	△ 3.8
うち給水収益	4,211,942	3,680,110	△ 531,832	△ 12.6
(減免前の額)	4,211,942	4,150,110	△ 61,832	△ 1.5
総費用	5,420,799	5,457,255	36,456	0.7
うち人件費	648,233	638,506	△ 9,727	△ 1.5
差引(純利益、△は純損失)	2,509	△ 241,156	△ 243,665	-

※総収益と総費用の主な増減要因

() 内は、対前年度比増減額及び増減率

収益：給水収益の減 (△531,832 千円、△12.6%) 有収水量の減 (△61,832 千円)

市民生活支援事業減免額(△470,000 千円)

引当金戻入益の減 (△76,724 千円、△45.6%) 修繕引当金戻入益 (△64,956 千円)

他会計繰入金の増 (+424,515 千円、+213.4%) 市民生活支援事業分 (+488,128 千円)

高料金対策 (△62,879 千円)

費用：委託料の増 (+77,128 千円、+12.9%) 水道施設維持管理費 (+44,457 千円)

内、忌部浄水場ろ過池補砂業務 (+45,507 千円)

料金徴収包括業務委託費 (+12,029 千円)

受水費の増 (+31,396 千円、+2.6%) 忌部浄水場耐震化工事による浄水量の減に伴い受水量を増

修繕費の減 (△51,756 千円、△15.7%) 千本貯水池浚渫工事費 (△41,000 千円)

資産減耗費の減 (△26,324 千円、△32.9%) 施設撤去工事 (△18,000 千円)

総費用 36,456 千円増のうち、市民生活支援事業に係る経費は 16,790 千円

【資本的収支】

(単位：千円、消費税及び地方消費税込)

区分	R6	R7	比較増減	前年比(%)
収入	2,002,188	3,219,645	1,217,457	60.8
支出	3,725,386	4,198,014	472,628	12.7
うち建設改良費	2,433,336	2,914,285	480,949	19.8
差引(不足額)	△ 1,723,198	△ 978,369	744,829	—

※主な増減要因

収入：企業債 1,191,700 千円 (+29,900 千円、+2.6%)

工事負担金 191,510 千円 (+111,760 千円、+140.1%)

国庫補助金 169,757 千円 (+148,907 千円、+714.2%)

長期貸付金戻入 829,278 千円 (+822,618 千円：土地開発公社からの貸付金償還)

投資有価証券償還額 300,000 千円 (+100,000 千円、+50.0%)

支出：建設改良事業費の増(下表参照)

※不足額は、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。

建設改良費内訳

(単位：千円、消費税及び地方消費税込)

区分	R6	R7		比較増減	比率(%)	経営計画 R7事業費
			主要内容 () は事業費			
管路	1,515,800	1,463,847		△ 51,953	△ 3.4	2,085,940
耐震化	1,137,400	782,397	大塚山水系送水管耐震化工事(第1・2工区) (214,500) 福浦水系基幹管路(福浦西系)配水管布設替工事(第2・3工区) (121,000) 市道波入寺津線配水管耐震化工事 (91,300) 市道遅江学校線配水管耐震化工事 (84,700) 大庭水系配水管支管(医療センター行)配水管耐震化工事 (82,500)	△ 355,003	△ 31.2	—
公共工事	254,100	433,950	八重垣神社竹矢線(大庭工区)防交交付金(改築)事業に伴う送・配水管移設補償工事 (88,000) 市道西尾大井線道路改良工事に伴う送・配水管布設替補償工事 (93,500) 中川2号橋橋梁添架工事に伴う配水管移設補償工事 (44,000)	179,850	70.8	—
その他管路	124,300	247,500	古志第1配水池行受水管布設工事(第1・2工区) (198,000) 市道南田東西線配水管布設工事 (20,900)	123,200	99.1	—
施設	408,721	631,129	忌部浄水場耐震化工事(継続費) (600,600)	222,408	54.4	655,761
設備	258,083	601,259	水道施設油流出防護対策工事(20箇所) (138,600) 松江上水地区送水施設設計業務(竹矢ポンプ場) (101,750) 中央監視装置設備更新工事(忌部浄水場) (46,906)	343,176	133.0	432,146
その他	250,732	218,050	人件費 (155,224) ガスクロマトグラフ質量分析装置更新 (41,353)	△ 32,682	△ 13.0	173,097
合計	2,433,336	2,914,285		480,949	19.8	3,346,944

※経営計画・防災計画に基づき防災力の向上を図るため、基幹管路及び防災拠点施設への管路耐震化などに取り組む。

※主な増減要因(対前年度比較 480,949 千円の増)

耐震化 355,003 千円の減

水道管路緊急改善事業と重要給水施設配水管事業の R7 年度事業分 564,300 千円(矢田水系基幹管路(矢田井手平線)配水管耐震化工事、朝酌水系配水管支管(総合体育館)配水管耐震化工事)の前倒しで R6 年度交付金事業として前倒し実施したことに伴う減

等によるもの。

施設 222,408 千円の増

忌部浄水場耐震化工事年割事業費の増（258,500 千円）等によるもの。

設備 343,176 千円の増

水道施設油流出防護対策工事（20 箇所：138,600 千円）、松江上水地区送水施設設計業務（竹矢ポンプ場：101,750 千円）の増等によるもの。

※経営計画との比較

管路 622,093 千円の減

水道管路緊急改善事業と重要給水施設配水管事業について R6 年度交付金事業として前倒しで追加要望したことによる事業費減額。（△564,300 千円）

設備 169,113 千円の増

水道施設油流出防護対策工事（20 箇所：138,600 千円）の実施によるもの。

【債務負担行為】

- ・水道料金及び下水道使用料等収納代行業務（令和 7 年度設定分）（R8～12 年度）

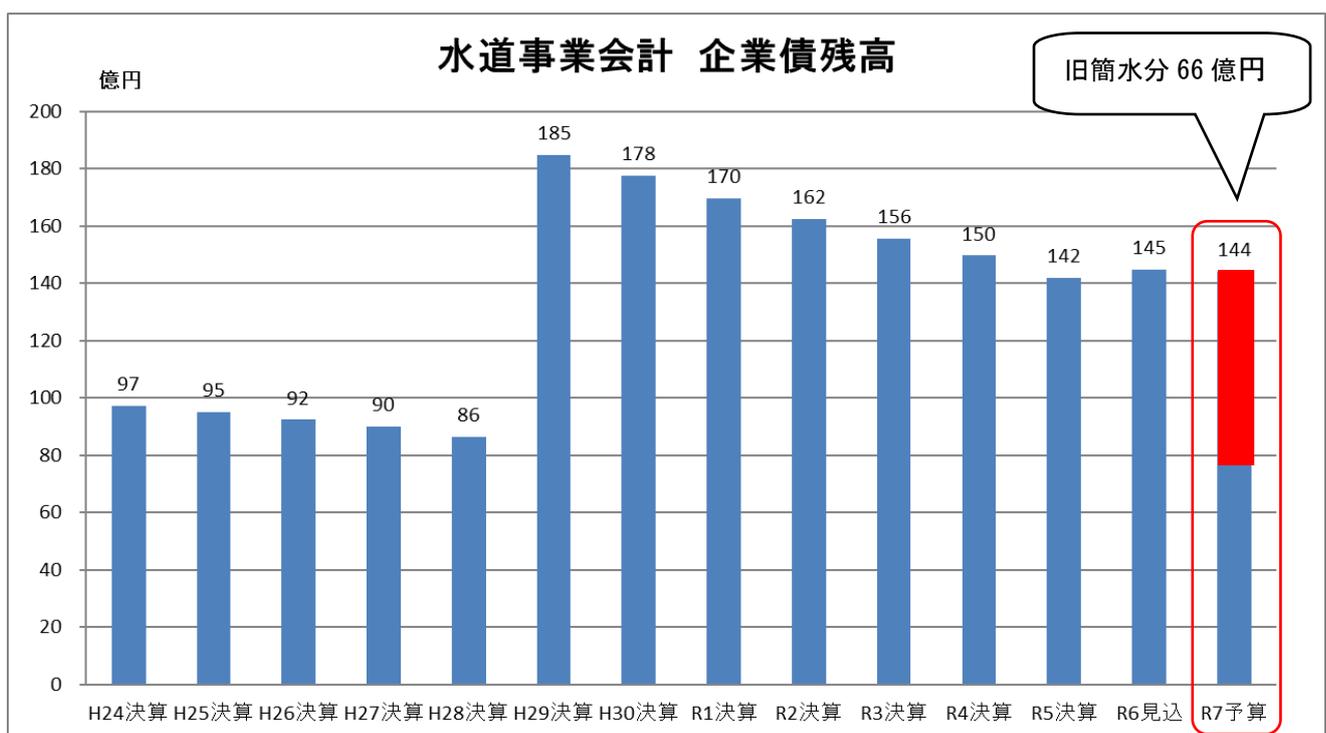
事業費：74,969 千円（R7 予算額 0 千円）債務負担行為額：74,969 千円

事業内容：上下水道料金の賦課徴収業務の受託者が発行した納入通知書により、全国のコンビニエンスストアでの収納（スマートフォンアプリ決済を含む）の代行業務を行うもの。賦課徴収業務の受託者との契約期間に合わせ複数年契約。

- ・上下水道施設設備台帳システムデータ更新業務（R8～12 年度）

事業費：49,812 千円（R7 予算額 8,302 千円）限度額：41,510 千円

事業内容：施設設備の改築更新情報について、工事が完了したものから随時、施設設備台帳システムに登録するもの。（データ入力、図面、写真等のスキャニング及び登録）



2. 下水道事業

【業務状況】

事項	R6	R7	比較増減	前年比(%)
普及率(%)	98.0	98.0	0.0pt	—
水洗化人口(人)	177,839	176,449	△ 1,390	△ 0.8
水洗化率(%)	94.4	94.5	0.1pt	—
有収水量(m ³)	19,396,465	19,232,215	△ 164,250	△ 0.8

※R7の有収水量は、市民生活支援事業減免水量を含む。

※水洗化人口の推計を国立社会保障・人口問題研究所の推計値から住民基本台帳の数値からの推計値へ変更

【収益的収支】

(単位：千円、消費税及び地方消費税抜)

区分	R6	R7	比較増減	前年比(%)
総収益	7,512,339	7,482,379	△ 29,960	△ 0.4
うち下水道使用料	3,456,005	3,405,975	△ 50,030	△ 1.4
(減免前の額)	3,456,005	3,427,835	△ 28,170	△ 0.8
総費用	7,452,619	7,482,150	29,531	0.4
差引(純利益)	59,720	229	△ 59,491	△ 99.6

※総収益と総費用の主な増減要因 () 内は、対前年度比増減額及び増減率

収益：下水道使用料の減(△50,030千円、△1.4%) 有収水量の減少(△28,170千円)
 市民生活支援事業減免額(△21,860千円)
 他会計負担金の増(+20,972千円、+9.7%) 維持管理費分の増(+9,817千円)、企業
 (雨水事業分) 債利息及び減価償却費分の増(+11,155千円)
 他会計補助金の減(△37,147千円、△2.4%) 企業債利息及び減価償却費分の減
 (汚水事業分) (△61,444千円)、市民生活支援事業分
 (+25,288千円)
 営業外雑収益の増(+30,992千円、+386.5%) 下水道管移設補償費の増(+30,441千円)
 費用：委託料の増(+59,798千円、+9.3%) 施設管理委託の増(+33,091千円)
 各種計画策定費の増(+19,935千円)
 人件費の減(△26,514千円、△11.0%) 退職関係費用の減(△40,318千円)
 給料手当等の増(+12,868千円)
 支払利息の減(△38,064千円、△6.9%) 企業債残高の減少
 総費用 29,531千円増のうち、市民生活支援事業に係る経費は 3,116千円

純利益は減債積立金に処分し、企業債償還(R6年度末見込残高 319億円)の財源とする予定。

【資本的収支】

(単位：千円、消費税及び地方消費税込)

区分	R6	R7	比較増減	前年比(%)
収入	4,123,608	4,296,861	173,253	4.2
支出	6,616,526	6,561,255	△ 55,271	△ 0.8
うち建設改良費	2,494,884	2,720,025	225,141	9.0
うち企業債償還金	4,120,542	3,840,130	△ 280,412	△ 6.8
差引(不足額)	△ 2,492,918	△ 2,264,394	228,524	-

※主な増減要因

収入：企業債 2,261,500 千円 (+302,100 千円、うち 300,000 千円は資本費平準化債)
 ※資本費平準化債 総務省基準に基づき、当該年度の元金償還金とその財源となる減価償却費の差額による資金不足を補うために借入するもの。
 他会計補助金 1,456,567 千円 (△160,218 千円、企業債償還金の減によるもの)

支出：建設改良費の増(下表参照)
 企業債償還金 3,840,130 千円 (△280,412 千円)

※不足額は損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補填。

建設改良費内訳

(単位：千円、消費税及び地方消費税込)

区分	R6	R7		比較増減	比率(%)	経営計画 R7事業費
			主要内容 () は事業費			
管渠	667,772	863,079	松江市公共下水道 管渠更生工事(市内一円) (206,410) 農業集落排水(上意東地区)管渠更生工事 (108,900) 管路点検調査業務委託(東出雲町他) (99,330) 大橋川改修(左岸下流拡幅部朝酌矢田地区)工事に伴う汚水管布設替補償工事(継続費) (95,000)	195,307	29.2	822,674
施設	394,555	462,900	中継ポンプ場改築工事(向島ポンプ場・黒田ポンプ場) (220,000) 中継ポンプ場改築に伴う耐震診断業務 (72,000) 生活排水処理施設設置工事(平原ニュータウン)(継続費) (58,500) 漁集施設機能保全工事(大芦、多古) (61,700)	68,345	17.3	383,305
設備	325,959	328,544	マンホールポンプ制御盤更新工事 (73,150) マンホールポンプ遠隔監視システム機能増設業務 (49,500) 下水道「縁」システム対応伝送装置盤新設工事 (41,041) 遠隔監視システムマンホールポンプ盤通信部改良工事 (24,200)	2,585	0.8	564,528
流域下水道	439,791	460,718	県事業負担金 (460,718)	20,927	4.8	404,126
雨水	592,635	523,206	雨水渠・雨水排水施設整備工事(魚町、国屋町他) (348,000) 雨水渠・雨水排水施設実施設計業務委託(竹矢・国屋排水区) (116,000)	△ 69,429	△ 11.7	536,134
その他	74,172	81,578	人件費 (52,495) 上下水道局舎改修工事 (22,065)	7,406	10.0	54,602
合計	2,494,884	2,720,025		225,141	9.0	2,765,369

※主な増減要因(対前年度比較 225,141 千円の増)

管渠：195,307 千円の増 公共下水道管渠更生工事 (+206,410 千円) 等
 雨水：69,429 千円の減 雨水渠・雨水排水施設整備工事 (△155,500 千円)
 雨水渠・雨水排水施設実施設計業務委託 (+82,000 千円)
 施設：68,345 千円の増 中継ポンプ場改築に伴う耐震診断業務 (+72,000 千円)

※経営計画との比較（45,344千円の減）

管渠 40,405千円の増

大橋川改修（朝酌矢田）污水管支障移転補償工事費の増（+51,220千円）

施設 79,595千円の増

中継ポンプ場の電気機械設備等の更新費用を設備から施設に振り替えたことによる増額

設備 235,984千円の減

マンホールポンプ制御盤更新箇所、遠隔監視等の通信システム等の工事個所の見直しによる減額及び中継ポンプ場の電気機械設備等の更新費用を設備から施設に振り替えたことによる減額

【債務負担行為】

- ・上下水道施設設備台帳システムデータ更新業務（R8～12年度）

事業費：21,348千円（R7予算額3,558千円）限度額：17,790千円

事業内容：施設設備の改築更新情報について、工事が完了したものから随時、施設設備台帳システムに登録するもの。（データ入力、図面、写真等のスキャニング及び登録）

【継続費】

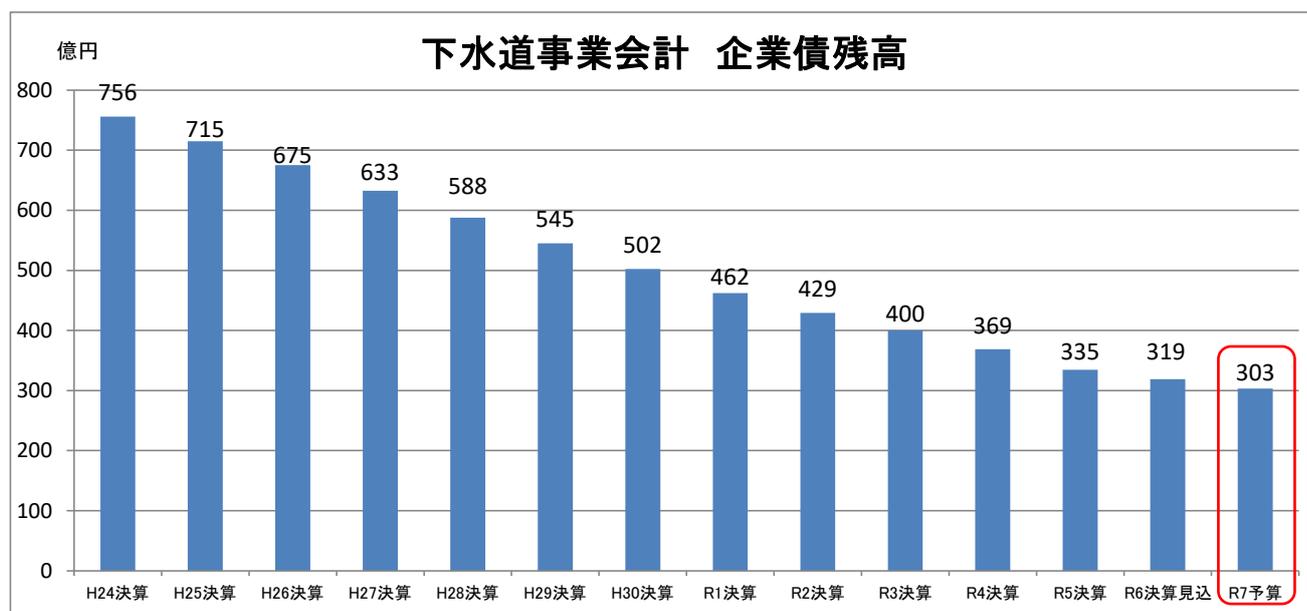
- ・一級河川斐伊川水系大橋川改修（左岸下流拡幅部朝酌矢田地区）工事に伴う污水管布設替補償工事（R7～8年度）

設定理由：出雲河川事務所の大橋川改修（朝酌矢田地区）に伴う污水管支障移転工事について、大橋川改修との工程調整のため令和7年度から令和8年度まで2年間の契約を締結することから継続費を設定するもの。

総額：170,500千円

年割額：R7：95,000千円、R8：75,500千円

企業債残高の推移



令和7年度松江市水道事業会計予算説明資料

◇矢田水系基幹管路（中央ループ行）配水管耐震化事業

1. 目的

大規模基幹管路で布設後50年以上が経過した飯梨系矢田配水基幹（矢田配水池～中央ループ）について、耐震管での更新を実施する。

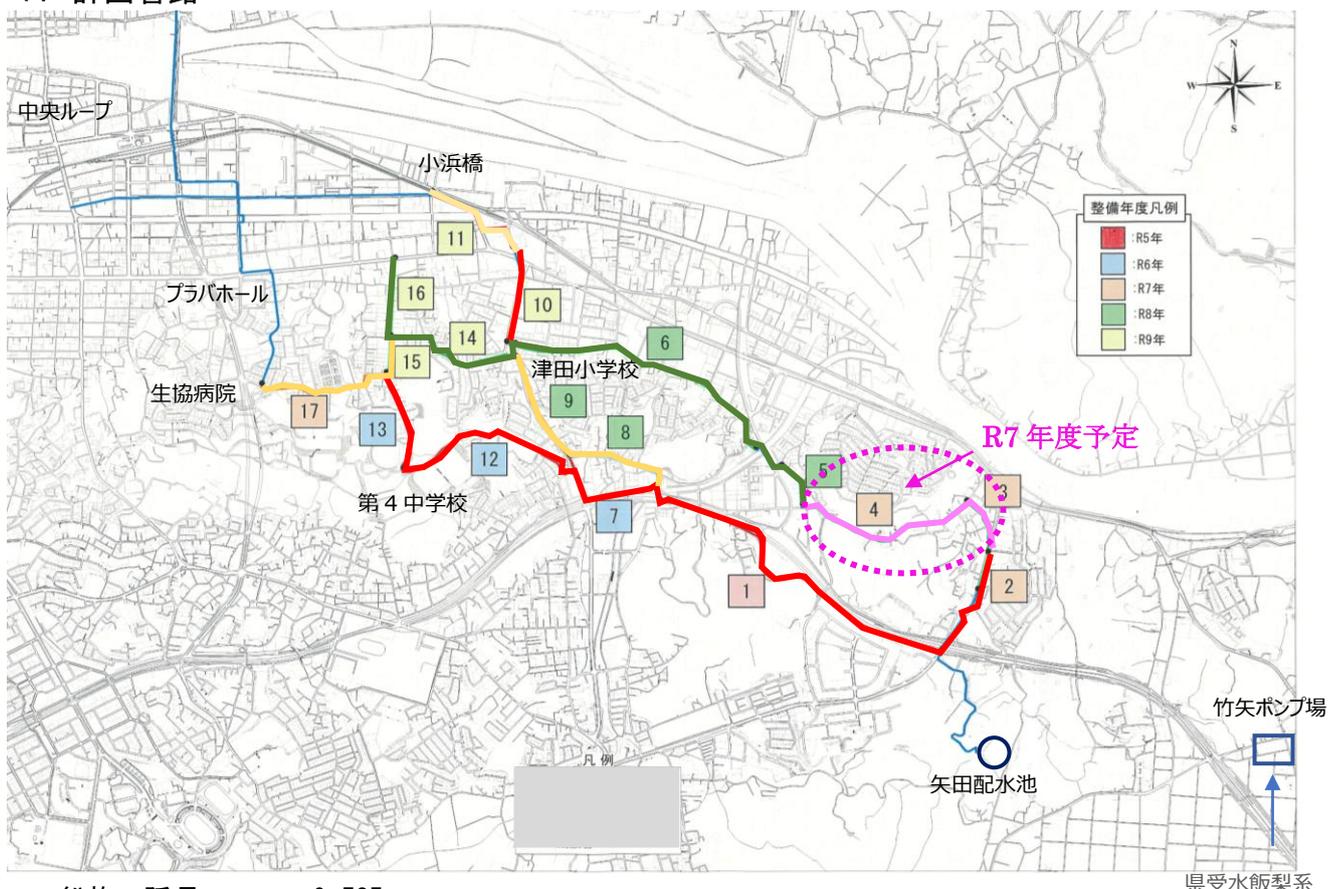
2. 事業概要

矢田配水池から市内へ向けて既設管ルートは道路幅員が狭く布設替えが困難であるため、令和5～6年度で別ルートに新設配管（φ400～φ250）を布設した後、令和7～9年度にかけて既設管路を更新するため、ダウンサイズ（φ200～φ150）し布設替えを実施する。

3. 総事業費 1,833,262千円（5ヶ年）

R5：341,437千円 R6：306,700千円（R5追加要望分）円 R7：181,500千円（R6追加要望分）
R8：566,250千円 R9：437,375千円

4. 計画管路 [矢田配水池～中央ループ行]



総施工延長	9,535m
基幹管路 新設	3,860m (R5:1,510m、R6:1,852m、R9:498m)
布設替	1,377m (R5:300m、R9:1077m)
既設管路 布設替	4,298m (R5:184m、R7:1,082m、R8:2,637m、R9:395m)

令和7年度松江市下水道事業会計予算説明資料

◇平原ニュータウン団地公設浄化槽整備事業

1. 目的

八雲町平原地区の平原ニュータウンにおいて、老朽化した集合処理大型浄化槽を廃止し、公設浄化槽に切り替えるもの。

2. 経過

平原ニュータウンは昭和56年に八雲町平原地区において民間事業者によって開発された約100区画の住宅団地であり、現在46戸が入居している。

合併以前から下水道の計画区域外であったため、生活排水については開発事業者が設置した大型浄化槽により集合処理を行っている。

令和4年2月に当該団地の浄化槽管理組合長から集合処理大型浄化槽を松江市に寄付したい旨の要望があった。

現地調査により施設の老朽化が著しいことが判明したため、施設更新の費用対効果等を検討した結果、各戸に公設浄化槽を設置することとし、令和6、7年度の2か年の継続事業として実施することとした。

3. 予算額 R7 : 58,500 千円 (継続費予算総額 117,000 千円 (2ヶ年継続費))

(R6 : 58,500 千円)

財源 : 公設浄化槽分担金	3,831,800 円
環境省交付金	13,524,000 円
一般会計からの繰り入れ	69,700,000 円
島根県生活排水処理普及促進交付金	27,390,000 円
その他	2,554,200 円

4. 事業実施の収支見込

財源	項目	数量	単位	単価	小計
	公設浄化槽分担金		46	基	83,300
環境省交付金 (1/3) 5人槽上限882,000円					13,524,000
下水道事業債 a		1	式		99,600,000
一般会計繰入 (うち交付税7割)		a × 70%			69,700,000
県生活排水処理普及促進交付金		a × 27.5%			27,390,000
その他					2,510,000
単費					44,200
合計					117,000,000

事業費	項目	数量	単位	単価	小計
	調査及び実施設計		1	式	
公設浄化槽設置工事費		46	基	2,000,000	92,000,000
合計					117,000,000

環境省交付金 : 循環型社会形成推進交付金 (公共浄化槽等整備促進事業)

◇デジタルトランスフォーメーション関係事業

- ・給水装置工事 Web 申請システム、排水設備工事 Web 申請システム（上下水道）
 - 目 的：給水装置工事及び排水設備工事の申請を Web で申請できるようにするもの。
 - 効 果：申請者（指定業者）の来庁の手間が減り、24 時間いつでも申請が可能となり負担軽減が図られる。また、局側でも受付処理の平準化と効率化が図られる。
 - 申請件数：年間約 2,100 件（給水 1,100 件、排水 1,000 件）
 - 予 算 額：2,112 千円

- ・管路台帳ホームページ掲載（上下水道）
（マッピング PDF 形式図面出図業務含む）
 - 目 的：本管台帳閲覧をホームページに掲載し、局に来庁せずに閲覧できるようにするもの。
 - 効 果：指定業者が来局せずに、自社で本管台帳の確認ができるようになり負担軽減が図られる。
 - 閲覧件数：年間約 2,000 件
 - 予 算 額：5,648 千円

- ・立会受付 Web システム（上下水道）
 - 目 的：地下埋設物占有者間協議書と立会申請書を Web で申請できるようにするもの。
 - 効 果：申請者（指定業者）の来庁の手間が減り、24 時間いつでも申請が可能となり負担軽減が図られる。また、局側でも受付処理の平準化と効率化が図られる。
 - 予 算 額：1,889 千円
 - 申請件数：年間約 1,000 件